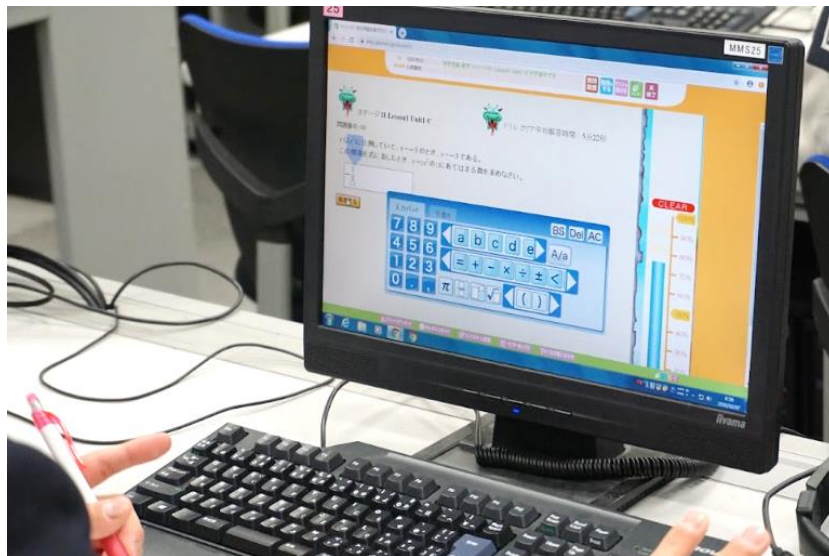


累計 261 校、約 7 万 7 千人の児童・生徒の ICT 教育活用に寄与 ICT 教材の「すらら」「すららドリル」 経済産業省「EdTech 導入補助金」追加採択決定

アダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役:湯野川孝彦)は、令和3年度補正「学びと社会の連携促進事業 (EdTech 導入補助金 2022)」への追加申請分が採択されました。

今回の追加採択により、実証期間中(2022年7月下旬~2023年3月末予定)に「すらら」または「すららドリル」が無償で利用できる学校は、全国で累計 261 校、児童・生徒数は累計 7 万 7 千人以上となります。

今年の EdTech 導入補助金は、複数回の申請が可能で、今回はその追加分の採択の結果となります。今後も追加申請にて、さらに多くの自治体・学校の活用の実現に取り組んでいきます。



GIGA スクール構想はコロナの流行により一気に加速し、全国の公立の小学校等の 96.1%、中学校等の 96.5%が、「全学年」または「一部の学年」で端末の利活用を開始しています(※)。EdTech 補助金事業では、端末の利活用に向け EdTech ツールの経費の一部を補助することで、学校等教育機関への導入を促進し、教育イノベーションの普及を後押しすることを目的としています。事業開始 3 年目の本年は、導入実績が少ない自治体への支援を重点的に行っています。

すららネットでは、EdTech ツールとしての導入だけでなく、児童・生徒の学習を通じた成長の実現を教育現場と共に目指しています。

【すららネットとの実証事業に追加採択された教育委員会・学校一覧】

■教育委員会			
<北海道>	石狩市、恵庭市	<宮城県>	大河原町
<栃木県>	鹿沼市	<群馬県>	下仁田町
<千葉県>	習志野市	<富山県>	富山市
<長野県>	中川村	<静岡県>	静岡市
<奈良県>	五條市、大淀町、河合町	<岡山県>	備前市
<徳島県>	つるぎ町	<佐賀県>	唐津市
<鹿児島県>	出水市	<和歌山県>	有田市
■国・公立学校			
<福島県>	須賀川東陽高等学校	<栃木県>	のざわ特別支援学校
<長野県>	松本工業高等学校		
<静岡県>	沼津高等学校	<奈良県>	奈良教育大学附属中学校
■私立学校			
<群馬県>	ぐんま国際アカデミー初等部		
<東京都>	東洋高等学校、トキワ松学園小学校		
<新潟県>	加茂暁星高等学校、新潟青陵高等学校		
<静岡県>	浜松学芸中学校		
<広島県>	広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校		
<鹿児島県>	池田学園池田小学校	<沖縄県>	豊見城南高等学校

■AI×アダプティブラーニング教材「すらら」、アダプティブドリル「すららドリル」について

「すらら」は、小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会 5 教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブな eラーニング教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人一人の習熟度に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の定着をワンストップで実現できます。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができる特長を生かし、小・中・高校、高等教育機関、学習塾をはじめ、放課後等デイサービス等においても活用が広がっています。

「すららドリル」は、アダプティブなドリルと自動作問・採点機能を有するテストからなり、「すらら」の姉妹版として主に公立小中学校向けに提供を開始しています。

■株式会社すららネットについて

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、アダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」と「すららドリル」を、国内では約 2,500 校の学校、塾等 43 万人を超える生徒に提供しています。全国の公立学校、有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け、代表的な EdTech スタートアップ企業として 2017 年に東証マザーズに上場しました。